

令和7年度苫小牧市文化交流センター運営協議会定例会 会議結果（概要）

日時 令和8年3月26日（木）

14:00～14:45

場所 文化交流センター3階 学習室4

出席委員 北川委員、福田委員、佐久間委員、北岸委員、高橋委員、田中委員 計6名
（欠席委員：佐藤委員、岡田委員、高島委員、小林委員 4名）
事務局 生涯学習課 田中課長、斉藤課長補佐、野水主査
指定管理者 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
村田エリアマネージャー、三塚館長、
佐々木副館長、大澤副館長

1 開 会（進行） 斉藤課長補佐

2 課長挨拶 田中課長

3 議 事（議事進行） 高橋会長

（1）令和7年度 文化交流センター事業報告及び利用状況報告について

- ① 資料に基づき三塚館長から報告
- ② 質疑・意見

・委員：ロビーを利用したイベントや事業の実施など、施設を有効に活用しており、好感が持てる。周知用の自作ポスターの出来も素晴らしい。

「私たちの地域をどうしたら委員会」を年2回開催しているが、その中でユニークな面白い意見などがあればお示しいただきたい。

・指定管理者：「施設内トイレへの温水洗浄便座設置」など施設の使い勝手に対する声が多く、参考にさせていただいている。

温水洗浄便座については、施設内の洋式トイレへの設置を完了しており、施設利用者の利便性向上に努めている。

- ③ 承認

（2）令和8年度 文化交流センター事業計画について

- ① 資料に基づき三塚館長から説明
- ② 質疑・意見：特になし
- ③ 承認

(3) その他

- ・委員：若年層の参加・利用の拡充が課題と言われたが、前年度比較で50歳代以下の利用割合が10ポイントもアップしており、すごい努力や工夫をされたと思う。施設として苦勞した部分も含め何かあれば話していただきたい。
- ・指定管理者：取組みごとの分析は行っていないが、コロナ過以降はそれまで利用の少なかった企業の会議やリモート業務を行うための個人での利用が増加傾向にあり、その結果が若年層の利用率向上につながったものにとらえている。
- ・委員：従来あまり目を向けていなかった新しい分野の開拓は、文化とは直接繋がらなくても、施設利用の面からも望ましいことだと思われる。ぜひ、そういう分野にも力を入れていただければと思う。

4 閉 会

14 : 45